

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

No.- 1 7 : 新潟県 粟島浦村 (人口 : 338 人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

JR 村上駅～(タクシー(乗合タクシー)～岩船港 15分
岩船港～(粟島汽船)～粟島港 高速船 55分 (普通船 90分)

(2) 事業実施の目的等

- ・都会の若者に、粟島の暮らしを体験してほしい。
- ・都会の若者の、「粟島の暮らし」についての意見が聞きたい。
- ・将来的には、可能であれば、都会と粟島の橋渡しの役割を担ってほしい。
(橋渡し=家族・親戚・友人・知人に紹介、遊びに来てもらう、一緒に遊びに来る、など)

(3) 体験の内容

『しまの生活まるごと体験』粟島にホームステイしませんか？
・ホームステイ先のお手伝い ※忙しい時は、家業の手伝いのみになってしまう日もあります
→家業の手伝い(民宿・食堂など)、島のばばとの農作業体験、漁師さんと漁業体験など
・地域行事の参加(七夕:8月7日、盆踊り:8月13~14日)
※観光的な『体験』ではありません

(4) 受入主体

粟島浦村

(5) 受入期間

7月下旬 ~ 8月下旬
のうちの14日間程度を予定

(6) 応募上の注意

※費用負担	現地までの交通費:補助あり(関東圏:2万円まで、それ以外:要相談) 船賃 3,660円~7,380円 (普通船(片道)1,830円 高速船(片道)3,690円) 宿泊費:0円 食事代:0円
①要件	都市に暮らす若者
②応募締切り	7月中旬頃(希望者とは、順次、連絡を取っていき、定員に達し次第、締切らせていただきます)
③宿泊施設	ホームステイ(希望があれば、住居提供可)
④食事形態	受入先にて提供して頂きます。
⑤その他	食費の自己負担はありません。

(7) 地域担当者から一言

粟島は、お米以外はほとんど自給自足。お米も、物々交換で賄ってしまう島です。魚も野菜も旬のものを食べるからうまい!都会の暮らしとは大違いな粟島の暮らし。そんな島の暮らしを体感してもらうには、ホームステイが一番!時には家の手伝いがすごく忙しいこともあります。ですが、忙しい時を島の人と共に分かち合うことで、島の人と打ち解け、いつしか家族のようになり、帰るころには涙がホロリ...なんてことも。体感することで、得られる気づきは、なにものにも替えがたいと思います。ぜひ、体で感じて、感じたままを伝えて下さい。多くの方の問い合わせ、お待ちしております。

(8) お問い合わせ先

自治体名 粟島浦村役場	担当部署 総務課
(ふりがな) もりた まさと 担当者氏名 森田 真人	TEL:0254-55-2111 (直通) FAX:0254-55-2159
E-mail: project@vill.awashimaura.lg.jp	
URL: http://www.vill.awashimaura.lg.jp/	
応募宛先 〒958-0061 新潟県岩船郡粟島浦村字日ノ見山 1513-11	